

「デノスマブ使用に伴う低カルシウム血症発症に関する研究」への

ご協力をお願い

1. 研究の目的と意義

当院では、患者さんの診療とともに、診療の向上を目指す研究を行っています。前立腺癌、乳癌をはじめ、固形癌の骨転移の治療にデノスマブ（商品名：ランマーク）という注射薬が用いられていますが、副作用として5.8%の頻度で低カルシウム血症が起こるとされています。低カルシウム血症は多くが無症状ですが、手足や唇のしびれ、不整脈、てんかん等の症状が出ることもあります。

今回、当院におけるデノスマブ使用における低カルシウム血症について調査するための後ろ向きの研究を計画しました。

2. 研究の方法

この研究では、2016年9月から2019年9月までに当院にてデノスマブ投与を開始した患者さんを対象とします。診療録より、低カルシウム発症の有無、癌種、投与回数、採血データ等の臨床情報を後ろ向きに調査します。これまでの診療情報を用いる調査ですので、患者さんへの負担はありません。

研究結果は、対象となった患者さんの診療には利用しませんので、ご本人にお伝えすることはありません。研究は2020年6月まで行い、終了後は収集したデータを適切に廃棄します。

3. 個人データとプライバシーの保護について

対象となる患者さんのデータは、個人が同定できないように匿名化して管理し、個人情報保護をします。また研究成果は学会発表や学術雑誌に公表しますが、その際も個人を特定できないようにします。

この研究への協力を希望しない方は、主治医または下記にその旨をご相談ください。その場合でも、今後の診療には何の影響もありません。

連絡先 群馬県立がんセンター 泌尿器科 電話：0276-38-0771

研究責任者 辻 裕亮